

2. 事業の概要と成果

(1) 上位目標の 達成度	農民組織が「土のう工法」を習得し、自助努力により適切な道路整備が可能となることで、地域住民のくらしが豊かになる。 おおむね達成：計6村の農民組織について重点的に「土のう工法」を用いた道路整備研修を通した住民組織化を行い、4,219 m の農道が整備された。特に重点的に整備を行ったボボデュラッソ・エリアでは、前年度・本年度と整備した道路が地域の主要道路となり、工事個所での車両の事故がなくなり、住民のバイク修理頻度も大幅に減少、定期交通便（ミニバス）が1台から6台に増加して通年運行しはじめ、病院へのアクセスや救急車の来訪が増加、農産物収量も増加し、地域のアンカバラケの認知や工事への期待が向上した。																																										
(2) 事業内容	【活動1】バンフォラ・エリア2か所（ウラテンガ村、ファラバ村）、ボボデュラッソ・エリア5か所（デシネ村、ダボクリ村、ムソバドゥグ村、ニャフォンゴ村）における道路整備の実地研修 注：ファラバは申請書中のデレグエとブグッソの中間にある慣例的な村せい落（集落）名で、ファラバ住人が工事を担当したので本報告書ではファラバとした。 【活動2】バンフォラ市との協働による道路整備の実地研修 【背景環境の変化】 予定していた綿花企業「SOFITEX」との協働が中止となった一方、インフラ省傘下の専門学校やHIMO (Haute Intensité de Main d'Oeuvre: 労働集約型建設手法) プログラム担当部署との関係づくりが進んだ。上記のことも影響し、道路整備住民組織「アンカバラケ」との関わりや方向性を練り直すことになった。																																										
(3) 達成された 成果	【活動1】バンフォラ・エリア2か所（ウラテンガ村、ファラバ村）、ボボデュラッソ・エリア5か所（デシネ村、ダボクリ村、ムソバドゥグ村、ニャフォンゴ村）における道路整備の実地研修（詳しくは別紙参照） 表1 活動1における道路整備概要 <table><tr><th>地域</th><th>工事期間 (施工日数)</th><th>工事種別</th><th>距離 (m)</th><th>協力者</th><th>累積参加 者(人)</th></tr><tr><td>ウラテンガ</td><td>2016/02/09-03/05 (20日間)</td><td>盛土</td><td>45</td><td>村リーダー</td><td>782</td></tr><tr><td>ファラバ</td><td>2016/9/14-12/9 (8日間)</td><td>部分補修</td><td>425</td><td>村リーダー アンカバラケ</td><td>155</td></tr><tr><td>デシネ</td><td>2016/2/16-2017/2/3 (39日間)</td><td>盛土+小規模 ダム用壁</td><td>224</td><td>村リーダー アンカバラケ</td><td>2,087</td></tr><tr><td>ダボクリ ムソバドゥグ</td><td>2016/9/26-10/4 (8日間)</td><td>部分補修</td><td>2,385</td><td>村リーダー</td><td>236</td></tr><tr><td>ムソバドゥグ</td><td>2016/2/22-2/28 (7日間)</td><td>全面補修</td><td>17</td><td>村リーダー アンカバラケ</td><td>306</td></tr><tr><td>ニャフォンゴ</td><td>2016/2/28-12/29 (147日間)</td><td>全面補修</td><td>1,123</td><td>村リーダー アンカバラケ 周辺8村 SOFITEX</td><td>5,932</td></tr></table> ＊直接裨益人口 19,933 名（事業地8か村人口合計、2006） ＊間接裨益人口 103,960 名（シデラドゥグ地域、ペニ地域の合計人口、2006） ① <u>バンフォラ・エリア：合計 470 m</u> ・雨季時でも安全、迅速に病人を病院へ搬送できるようになるなど、市場、病院等の社会サービス、モスクへのアクセスが容易になった。 ・雨季の車輛が通行が可能となり、日用品や農機材の運搬費が削減できた。 ・道路補修工事を通してコミュニティの団結力が強まった。 ・水源の確保が可能となり補修道路付近でコメ農家の数が上昇した。 ② <u>ボボデュラッソ・エリア：合計 3,749m</u> ・水源の確保が可能となったことにより、家畜の飲水が十分に可能となり、また販売用野菜栽培も始まった。	地域	工事期間 (施工日数)	工事種別	距離 (m)	協力者	累積参加 者(人)	ウラテンガ	2016/02/09-03/05 (20日間)	盛土	45	村リーダー	782	ファラバ	2016/9/14-12/9 (8日間)	部分補修	425	村リーダー アンカバラケ	155	デシネ	2016/2/16-2017/2/3 (39日間)	盛土+小規模 ダム用壁	224	村リーダー アンカバラケ	2,087	ダボクリ ムソバドゥグ	2016/9/26-10/4 (8日間)	部分補修	2,385	村リーダー	236	ムソバドゥグ	2016/2/22-2/28 (7日間)	全面補修	17	村リーダー アンカバラケ	306	ニャフォンゴ	2016/2/28-12/29 (147日間)	全面補修	1,123	村リーダー アンカバラケ 周辺8村 SOFITEX	5,932
地域	工事期間 (施工日数)	工事種別	距離 (m)	協力者	累積参加 者(人)																																						
ウラテンガ	2016/02/09-03/05 (20日間)	盛土	45	村リーダー	782																																						
ファラバ	2016/9/14-12/9 (8日間)	部分補修	425	村リーダー アンカバラケ	155																																						
デシネ	2016/2/16-2017/2/3 (39日間)	盛土+小規模 ダム用壁	224	村リーダー アンカバラケ	2,087																																						
ダボクリ ムソバドゥグ	2016/9/26-10/4 (8日間)	部分補修	2,385	村リーダー	236																																						
ムソバドゥグ	2016/2/22-2/28 (7日間)	全面補修	17	村リーダー アンカバラケ	306																																						
ニャフォンゴ	2016/2/28-12/29 (147日間)	全面補修	1,123	村リーダー アンカバラケ 周辺8村 SOFITEX	5,932																																						

- ・雨季に救急車やトラックが通行可能となり、医療へのアクセスが改善され、農産物の収量が増え、村とボボデュラッソを結ぶミニバス台数が増加した。
- ・ニャフォンゴでは雨季の通行不能状態が無くなり、乾季でも 4-5 件起きていた大型トラックの横転事故が 0 件となった。また、個人所有のバイク修理費が大幅に減少したことが多くの村人に実感されている。
- ・コミュニティの団結力が強まると同時に、地域の村同士の絆も強まった。
- ・直接工事に関係する村々だけではなく、はるかに広い地域一帯で人々の動き・流れが変わり、工事した道路が地域の主要道路になった。(本事業施工対象道路を通る第 2 の都市ボボデュラッソまでのルートは、従来利用されていたルートより距離が 85 km 短くなる。)
- ・結果として、特に経費に敏感な農民・商人が使用することが多いことから、今まで取引のなかった人々が工事地域に大きな関心を持ち始め、ビジネス機会が大きくなっている。移住の増加も観察されている。

工事終了後に開催された譲渡式典は二石大使の御臨席を賜り、盛大なものとなった。テレビでのニュース報道も数回行われ、政府系最大新聞でも裏 1 面オールカラーで報道されたことから、国内における事業の認知が飛躍的に高まった。

【活動 2】バンフォラ市との協働による道路整備の現地研修

表 2 活動 2 における道路整備概要

地域	工事期間 (施工日数)	工事種別	距離 (m)	協力者	累積参加者 (人)
セクター 7_7.31	2016/1/11-4/20 (62 日間)	全面補修	420 m	バンフォラ市	2695
セクター 7_7.21	2017/2/9-3/31 (30 日間)	全面補修	470 m	バンフォラ市	1334

前年度に行った工事が雨季後も問題なかったこともあり、市当局と市民の両方から高い評価を得た。そこで市当局から市の予算をつけたうえで再び整備協力要請があり、市が雇用している女性や若者グループ、HIMO プログラム参加者に対して整備工事の現地研修への技術協力を実施した(予算不足分の土のう袋 2,000 枚のみを事業負担し、道具類を貸出した)。

政権交代により市長および公共工事担当者が前回実施時から交代した。新市長から技術や工法を担当者に確認させたいという意向があった。そこで 2 回目であるものの、本事業で行う研修として工事費を一部負担して実施した。

【背景環境の変化】

申請書提出段階では、半官半民の綿花企業「SOFITEX」との協働が決定していた。その後、SOFITEX 担当者上司が交代したことから、社内で本事業との協働が見直された。SOFITEX が最低限整備しなければならない総距離と年度予算を考慮すると資金面での協力は難しく、工事参加住民の動員について協力することのみが可能という決定が下された。また、地方政府の首長らから協力を約束されていた建設重機等を無料レンタルすることも、故障等の理由により実現しなかった。

以上の事情から工事費が予定よりも高騰することになり、中間報告時に工事予定距離を減少させる変更を行った。現地調達可能材料の活用や運搬費等経費縮小の工夫の結果、変更後の計画工事量を予算内で完工することができた。

SOFITEX からの大きな協力は難しくなったものの、地域の綿花生産者グループにも研修を行い、大きな関心を持ってもらうことができた。彼らは SOFITEX の要請で毎年ボランティアな簡易道路整備を行っているため、今後、必要箇所のよりよい整備が進むことが期待

される。SOFITEX との関連で考えていた村落部の道路整備住民組織アンカバラケに関しては軌道修正が必要となった。

アンカバラケメンバーの活用や組織の発展に向け、工事監督・住民組織化担当者としてメンバーを派遣することを計画した。その業務を遂行する能力のあるメンバー数が限られることが判明した。一部のメンバーのみを現場に張り付けることは、本人たち本来の仕事を困難にするばかりでなく、メンバー間の不公平感を助長する様子が見受けられた。そこで本事業では、当団体の現場担当テクニシヤンの補助的役割を主要メンバーが一部果たすにとどまった。

上記事情のため、予定していた SOFITEX との協働を目指した座学研修はほとんど行われず、「(4) 持続可能性」に記述するインフラ省 HIMO プログラム担当部署との関連を見据え、メンバーと共に今後の戦略を練り直すことになった。

表 3 得られた成果の概要

期待される成果	指標	実施前	期待値	実施後
生活の向上	事業地域の道路整備距離合計	2015 年 1 350 m	2016 年 7,165 m	2016 年 5,518 m
	救急車の来訪回数*2	2015 年 16 回	2016 年 6 回	2016 年 57 回
農業収益向上	綿花収穫量	2015 年 3,120 t	2016 年 4,600 t	2016 年 4,600 t
村落組織化向上	道路整備住民会議回数	2015 年 ——	2016 年 36 回	2016 年 31 回
アンカバラケ母体力向上	アンカバラケのメンバー数	2015 年 7 人	2016 年 20 人	2016 年 26 人
アンカバラケ能力向上	出身村以外で整備活動に参加したメンバー数	2015 年 5 人	2016 年 20 人	2016 年 10 名
	模擬申請書試験合格メンバー数	2015 年 ——	2016 年 5 人	2016 年 未実施

(4) 持続発展性

(ア) 施工道路の維持管理 前年度工事を実施した村落はすべて、アンカバラケを中心に自主的補修が実施されている。ダボクリ村では小規模ダム壁の延長工事も実施された。また、本年度の事業村のうちムソバドゥグ村やデシネ村では、工事リーダーを中心にすでに自主的に工事個所の補強や村落内の小規模な道路補修が続けられている。このように維持補修では各村落の工事リーダーの存在意義が非常に大きく、彼らをメンバーとするアンカバラケを主要アクターとして村落や地方政府の幹部も交えて、維持管理計画をさらに強固にする予定を立てている。

(イ) インフラ省の専門学校と HIMO プログラム担当部署との関係構築 前年度、インフラ省の最高技術委員会向けに土のう工法のデモを行ったところ、委員会メンバーが高い関心を示した。さらに委員の一人であるインフラ省専門学校の継続教育部長から、土のう工法への理解と普及を目指して、専門学校の大学院レベル学生と関係者向けにワークショップ開催の提案があり、実施した。

HIMO のブ国における歴史は古く、また現在インフラ省でも力が入れている分野であるが、HIMO を委託できる市民組織が全く足りていない。インフラ省側からは当初から HIMO との協働可能性を示唆されており、今後、まずはインフラ省による土のう工法の正式な承認と、専門学校での集中講義開設を目指し、アンカバラケには HIMO の仕事を受託できるよう能力強化支援を行い、最終的に HIMO との協働と専門学校での定期的な講義によって、土のう工法の全国普及を図り、アンカバラケのような道路整備専門市民組織を育成し、全土でニーズの高い非舗装路整備に貢献する所存である。